



KABANET



Facebook



LINE



Twitter



Blog



Mail to

発行日:令和2年1月27日(No.021)
発行所:トヨタ自動車労働組合
発行人:鬼頭 圭介
編集人:井出 悟
印刷所:豊田共栄サービス㈱

討議資料

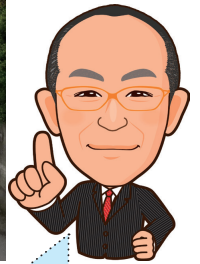
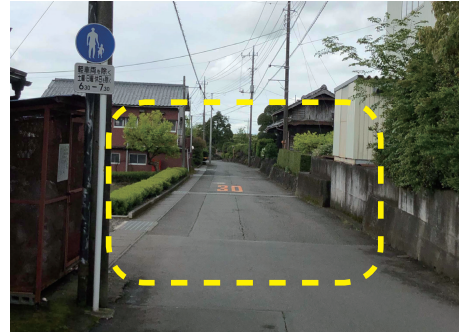
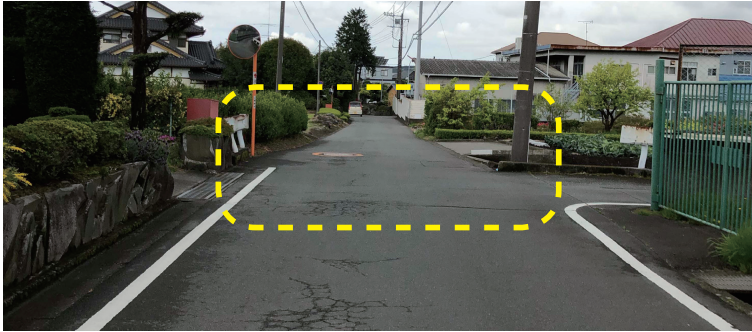


井出さとる

くらしの相談
担当者
レポート



報告① 通学路の安全確保について、当該区長と連携し改善要望中



通学路となっている市道の改修を、当該地区の区長と連携し行政要望を実施しました。当該路線は児童・生徒が通学路として通行していますが、路側線が消失しています。

路側線の補修、グリーンベルトの設置を要望しましたが、10月8日時点で裾野市より「通学路点検を実施し、次回、実施可否を回答」との連絡が区長に届きました。

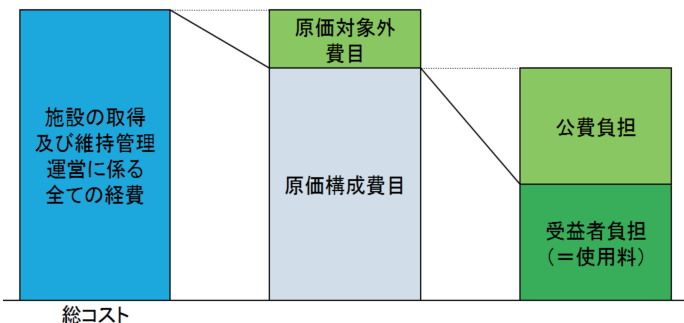
通学路の安全確保は、交通弱者を守るためにも最優先していくべき課題です。路側線は「歩道が設けられない道路への歩道代わりの区画」であることから、路側線の補修は早急に行うべきです。区長と連携して対応について確認をしていきます。

報告② ヘルシーパーク裾野の利用料金を見直します（令和2年4月から）

公共施設の運営やサービスの提供には、施設の維持管理や運営に経費がかかります。これらの経費は、施設・サービスを利用する人が支払う使用料と、利用しない人も含めて負担する市民の税金で賄っています。そのため、利用する人と利用しない人の負担の公平性・公正性を確保する必要があります。

図の通り、公費負担（税金を充当）と受益者負担の割合

【使用料設定基準の概念図】



を規定し、ヘルシーパーク裾野は、例えば御殿場高原の温泉施設など、民間とサービスが競合するとして、受益者負担を70%に設定することとなりました。この基本方針に基づいた利用量の改正案が示され、530円→700円（3時間）となります。

近隣との比較では、御殿場市の御胎内温泉は1000円（休日3時間）、富士市の天母の湯730円（3時間）と、近隣市町と遜色ないレベルで抑えてあるとのこと。

■今後の課題■

一方で今回、公共施設の利用料の見直し方針には、「市民/市民以外」の利用料の差別化が含まれていません。利用料の設定基準が明確になったことにより、（利用料の適正化方針）公費（税金）負担部分の市民以外の方の負担の考え方を早急に整理する必要があります。

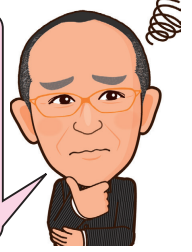


市民/市民以外の利用料の差別化は重要な課題として、会派としても市民の負担感軽減のために、基準を早急に策定するよう申し入れを行っています。一方で上記概念図でも示されているように、原価構成費目の絶え間ない改善により、受益者負担（利用料）を下げる取り組みが益々重要です。



報告③ 一般質問) 下水道の利用料の適正化について

裾野市の下水道料金は20年以上、利用料の見直しを行っていません。現在、**汚水処理原価は193円/m³掛かっているのに対し、利用料は115円/m³となっています。**その差額は公費(税金)で負担しており、およそ1億4千万円(平成30年度決算)となっています。合併浄化槽をご利用の方は試算でおよそ8千円/月に対し、下水道をご利用の方は試算でおよそ4千円/月となっていることから、適正な利用料への改正が急務です。利用料については年度内に市長に答申が出る予定です。



質 処理原価と利用単価の差は77.9円/m³。つまり経費が掛かっているものを安く売るという構造が解消しない限り、本来、使用者が払うべき費用を公費で補うという構造の改善はあり得ない。裾野市の経費回収率は59.7%だが、全国、県内、類似団体に対する裾野市の位置づけは。

答 全国の類似団体平均は81.4%、県下の類似団体平均は62.4%。裾野市は県下の類似団体中で一番回収率が悪い。今年度開催しております下水道審議会で、適正な使用料と経営戦略の策定について、審議会に諮問し審議をいただいている最中。

報告④ 特別職、議員の期末手当支給月数の見直し(増額)を否決

裾野12月市議会閉会

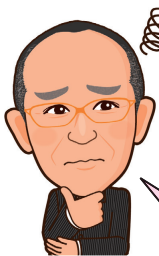
修正補正予算案を可決

裾野市議会12月定例会は11日、本会議を開き、追加議案2件を含む議案21件のうち、市長ら特別職と市議会議員の報酬を引き上げる条例改正案で、議員報酬の引き上げ案が賛成7人、反対10人、特別職の給与引き上げ案が賛成6人、反対11人で否決した。中小企業・小規模企業振興基本条例案に関し、条文の修正を求める修正動議案を可決、17件を原案通り可決し閉会した。

否決された議員、特別職の報酬引き上げ条例改正案は、人事院勧告を受けて上程したもので、12月期の期末手当で高村謙二市長は約5万円、特別職3人、市議会議員19人を含めた総額で人件費は約50万円の増額。井出悟議員は反対討論で「市は身の丈に合った行財政構造改革の集中対策期間初年度として、サービスの廃止、縮小に取り組んでいる。行財政改革は重要で必要。実現に向けては受益者負担の在り方を市民と共有し進めなければならぬが、集中期間の

必要性が十分に理解・賛同されていない。今以上に市長と議員は本気度を示す必要がある。今回の増額改正により、市民に疑念を生じたり、信頼感を損なったりしてはならず、改革に必要不可欠な行政、議会、市民が一丸となった協働が崩れてしまわないよう判断しなければならぬ」と述べた。増田祐二議員は賛成討論で「報酬の引き上げは妥当。市長報酬は特別職等報酬審議会で審議すべき。議員報酬は議員発議で議員報酬の引き下げなどを議論すべき」と述べた。

否決に伴い、令和元年度一般会計補正予算案で、議員報酬、市長給与の引き上げに伴う人件費などを予備費に組み替え、台風19号被害対応などに充てることとした議員発議の修正案を賛成多数で可決した。



今回の議案審議には大きく2つの課題があります。

①自治体の経営責任者(市長・副市長)は、自治体の経営状況など、人事院勧告意外にも重要な要素が総合的に考慮されていない。②議案を提出できる者自ら(市長、議員)が、「自らの報酬を引き上げる議案」を提出すべきではない。

特別職や議員の適切な報酬額は、市民による審議会での議論(諮問・答申)で決定していくべきです。

報告⑤ 他労組との交流を深めました



裾野地区労働者福祉協議会主催のボーリング大会に参加させて頂きました。これまでは労組別対抗の「縦割り」でしたが、今回は色々な労働組合のメンバーで混成された「横割り」チームでの対抗戦で楽しませて頂きました。(飛び賞も頂くことができました!)

今回の交流をきっかけにして、自動車とは他の産別の組合員の方々とも対話の機会が増え、裾野市全体の労働者の生活環境をより良くすることができればと思います。

